

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 土屋 敏幸 副会長 波多野 篤志 幹事 伊佐地 司 クラブ会報委員長 後藤 政之

2021~2022 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「みんなで考えよう 未来へ繋ぐために」



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2070回例会 2022年7月7日(木)
「通常総会・懇親会」 / 担当 会長・幹事・親睦活動委員会

前例会の記録 第2069回 2022年6月23日(木)
クラブ創立記念例会
会員卓話 次期周年事業提案特別部会
部会長 吉田 和也君
テーマ 関中央RCの歴史と50周年に向けて
担当 会長・幹事・親睦活動委員会

*ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱

*会長あいさつ 土屋敏幸会長

皆さん、こんばんは。今日はクラブ創立記念例会です。次期周年事業提案特別部会 部会長 吉田和也さんの会員卓話で、テーマは



「関中央RCの歴史と50周年に向けて」です。吉田さんが会長の時、私は幹事だったのですが、ほぼ彼がやってくれたので無事大役を終えることができました。その節はありがとうございました。本日の卓話、しっかりと拝聴させていただきます。

さて、最近、妊婦の出生前検査を受ける人が多くなっているそうです。その影響でしっかりとした検査が出来る医療機関も増加していると新聞に載って

いました。増加の要因は高齢出産が多くなっていることがあげられています。この記事を見た時に私も昔を思い出していました。

前にも話したように私の次女はダウン症です。将来のことを考え、長女1人に託すのはかわいそうなので、もう一人子どもが欲しいと夫婦で話し合っていました。3年後、何とか3人目を妊娠できたのですが、妻がまたダウン症だったらどうしよう、羊水検査をしたいと言い出しました。私は検査をすることで流産する可能性がないか(現在、流産に至る確率は約0.3%だそうです)それより、もしまたダウン症だったら堕胎するのか。そんな命を選択する権利が私たちにあるのか、結構偉そうに持論を話していました。結局、検査することなく、何とか無事に健康者として生まれてきてくれました。その長男も21才になりました。子ども世話をすべて彼女にまかせていた私がよくもまあ偉そうなことばかり言っていたなと反省はするのですが、ただ親とはいえ、命を選択する権利はないと今でも思っています。

私にとって次女は天使であり、宝であり、何より生きる希望です。だからこそそう考えてしまいま

す。皆さんは、どう思われますか？

また、最近、障がい者施設での職員による暴行死亡事件がニュースによく出てきます。その度に、胸が張り裂けそうになります。妻は、私たちが老いる前に施設に慣れさせて入所させようと言います。確かに正しい考えかもしれませんが、できるだけ夫婦で長生きして、彼女と一緒に暮らしたいと思っています。私たちが死んで施設に入所したいとしても二人の子どもには必ず会いに行っておきたいと遺言しておきます。

***クラブ創立記念例会 会員卓話**
次期周年事業提案特別部会
部会長 吉田 和也君
テーマ「関中央RCの歴史と
50周年に向けて」



1. 卓話の理由

この度、今年度最後の創立記念例会に卓話をさせて頂く事となりました。通常ですと毎年、一杯飲む例会となるように思いますが、古田親睦委員長より45周年も飲んだのだから、そう何回も飲まなくても良いと言われ、私に何か話をするようにと仰せつかり、私が話をするくらいなら、一杯飲んでの方が良いと思われる方が、ほとんどかと思いますが、そのような、いきさつでございますので、少しお話をさせて頂きたいと思っております。

さて、そこで何をお話しようかと大変悩みましたが、先日行われました45周年記念祝賀会の実行委員組織図の中に、次期周年事業提案特別部会というものが設けられておまして、何をやる部会か良く分かりませんが、どういうわけか、古田実行委員長の御計らいで、私の名前の前に◎がついておまして、もしかしたらこの事に関して何か話せとおっしゃられたのではないかと思います、今回の卓話のテーマを「関中央ロータリークラブの歴史と50周年に向けて」とさせて頂き、主に記念事業の事に関して、周年記念誌を読ませて頂き情報を得たこと基に、卓話をさせて頂きたいと思っております。ベテランの会員様は、そんなことわざわざ聞かなくてもわかっているという方もお見えでしょうが、新しい会員さんにご紹介するという意向をくんで頂き、お付き合いをお

願いできたらと思っておりますので、多少の間違いもあるかとは思いますが、その辺は目をつぶって頂き、宜しくお願い申し上げます。

2. 関中央ロータリークラブの創立

1977年昭和52年6月25日関ロータリークラブをスポンサークラブといたしまして、創立会員26名のフレッシュなメンバーがロータリーの奉仕の理想のもとに集い、関商工会議所に於いて、設立当初は、美濃関ロータリークラブという名のもと、誕生されました。

3. 認証伝達式

その翌年の1978年昭和53年3月21日 岐阜グランドホテルに於きまして、多数のご来賓、岐阜、三重県はもとより高知県、福井県、静岡県、愛知県、富山県などの多数のロータリークラブの皆様のご臨席を賜り、約800名の参加のもとで、認証状伝達式が盛大に執り行われました。当時の会員は38名となっておられました。

4. 5周年事業 1981年昭和56年 会員数43名

5周年事業といたしましては、記念誌や式典などの記載はございませんでしたが、この年はちょうど「国際障がい者年」という事であったようで、「愛の基金」を100万円で創設され、その後も基金の積み直しをされながら、その利益を社会福祉に寄贈される道筋を造られたようです。

又、写真や資料はございませんが、交通安全協会へ手形交通安全塔を下知地内の国道156沿線に寄贈されたそうです。金額は不明です。

5. 10周年 1987年昭和62年5月10日 平安殿にて式典 会員数56名

10周年事業といたしましては、まず1つ目に

①関商工高等学校に働きかけ創立10周年を期に吹奏学部を中心として64名でインターアクトクラブを設立し、1986年8月23日に関商工インターアクトクラブ認証状伝達式を挙行されました。結成後の活動は主に、慰問やイベントでの演奏であったようです。

②昭和60年11月1日第9期となりますが台湾通霄(トンシャオ)ロータリークラブとの友好クラブ提携が台湾通霄市の市役所におかれまして調印式が

行われました。当時の友好締結のメイン行事である両国の小中学校の絵画の交換が行われ、台湾の小中学生の絵画は帰国後、市民文化会館のホールに展示され、市内の学生が、風景画、人物画を鑑賞し、台湾、すなわち異国の子供達の日本とは違う感性を体感し、国際感覚を養う事業が行われました。その後も、両国の小中学生の絵画交換を主体として、交流が続いたようです。

- ③関市文化会館市民広場に太陽電池時計塔を金額は不明ですが寄贈されました。この時計塔は先日見に行きましたが、現在もしっかりと動いておりました。
- ④又9期目の時に、クラブ名を美濃関ロータリークラブより現在の関中央ロータリークラブと改名されました。

6. あの時君は・・・PART1

10周年記念誌の会員プロフィールの中に若かりし日のお顔を拝見いたしましたのでご紹介させて頂きたいと思います。

前田仁夫さん 1979年昭和54年1月18日入会
伊佐地金嗣さん 1980年昭和55年1月12日入会

7. 15周年 1991年平成3年11月2日 式典アピセ関平安殿にて式典 会員数69名

15周年の記念事業といたしましては

- ①韓国春川昭陽(チュンチョン、ソヤン)ロータリークラブと友好クラブ調印式が式典の中で執り行われました。調印を結ぶ事となった背景には、関商工インターアクトクラブが結成されて5年を迎えましたがブラスバンド部をベースにして結成されていたため、活動費として毎年20万円支払われていたものが全てが、楽器購入に充てられ、本来のインターアクトクラブの活動が出来ていない現状があったようです。そこで当時の校長先生にインターアクトの趣旨と目的をお話し、国際奉仕活動を目的として学生の海外派遣の事業に内容を変換していきたいとお願いしたところ、それまでのブラスバンド部から生徒会を主体とした新しい組織を速やかに結成すると快諾を得られたそうです。

その時点では、台湾通霄(トンシャオ)ロータリークラブとの間に友好クラブ締結が結ばれており

ましたが、学生を派遣するには少々問題があったようで、第13代目会長の吉田行好パスト会長という方の知合いが、韓国の春川市(チュンチョン)にある昭陽(ソヤン)ロータリークラブにおられたご縁で、インターアクターの相互交換を前提とした友好クラブの締結が行われました。そして第1回目の派遣が1992年3月27日から2泊3日で行われ、2日目には観光では見る事の出来ない、韓国軍と北朝鮮軍が銃を構えて向かいあっている、38度線非武装地帯の見学が行われ、日本とは違う緊迫した国際情勢を学習する機会を与えて頂き、学生たちも何か感じ取ってくれたものと思います。その後、韓国との交流は国際情勢が悪化する25周年位まで続いたと伺っております。

- ②交通安全協会へ関平安殿敷地内に於いて安全塔寄贈が行われました。金額は70万円だったようです。その後、関インターの付近に移設されたようですが、現在は無くなっているようです。

8. 20周年 1997年平成9年2月23日平安殿にて式典 会員数80名

この頃が会員数のピークであったようです。記念事業といたしましては、5周年、15周年、そしてこの20周年といずれも会員一同心から地域の交通安全を祈念するという思いから、関警察署の敷地内に交通安全塔を建立されました。金額は300万円だったようです。当時の警察署長も県下25署の中で、このようなシンボル塔がない署はごく僅かで、今回の寄贈を大変喜んでみえたようです。現在も関警察署に立派に建立されております。

9. あの時君は・・・PART2

この年の記念誌には会員数もピークを迎えられていたこともあり、多数の皆様の、お若い頃のお顔の写真を拝見させて頂きましたのでご紹介させて頂きます。

古田博文さん 1990年平成2年8月23日入会
古田育則さん 1994年平成6年1月13日入会
神谷秀幸さん 1994年平成6年1月13日入会
川上 勉さん 1995年平成7年7月6日入会
西田健一さん 1994年平成6年7月7日入会
小川糧司さん 1988年昭和63年8月8日入会

高井良祐さん 1993年平成5年7月1日入会
山田文夫さん 1995年平成7年7月6日入会
山本義樹さん 1990年平成2年8月23日入会

10. ロータリー野球

我がクラブは野球も大変強かったとお聞きしたおりまして、1999年第18回全国ロータリー野球甲子園大会に於きましては、準決勝では、四国代表中村ロータリークラブと3対2と接戦で勝ち抜き、決勝戦では高知中央ロータリークラブと闘い、惜しくも2対6と敗れながらも準優勝をされました。

11. 25周年 2002年平成14年3月21日

平安殿にて式典 会員数 67名

25周年の記念事業といたしましては、この年は中濃消防組合発足30周年という記念すべき年でございます。地域住民の生命と財産を守って頂く消防本部に当時必要とされておりました消防指揮車を寄贈されました。金額は350万円でした。又、この年より、先ほどにもお話しさせて頂きましたが韓国との国際情勢が悪化し、インターアクトの交換学生事業が中止となったようです。

12. 30周年 2007年平成19年3月21日

岐阜グランドホテルにて式典 会員数 44名

この頃にはピークの80名と比べて、随分会員数も減少しております。30周年ですが、何故かこの年の記念誌が無く、事務局にアルバムがございましたので、それを基にお調べさせて頂きました。記念事業と致しましては、関市の西本郷地区と山ノ手地区を結ぶ「わかくさトンネル」の開通に合わせて両側出入口の車道と歩道に照明灯を4基寄贈されました。金額は4基で400万円でした。

13. 35周年 2012年平成24年3月8日

岐阜グランドホテルにて式典 会員数 29名

35周年の記念事業と致しましては、

- ① 台湾台北南隆ロータリークラブとの友好クラブの締結が、3480地区陳パストガバナーと2630地区村橋ガバナーエレクトの仲人と、35期川上勉会長のご尽力により行われました。台北南隆ロータリークラブとのその後の交流は皆様ご承知の通りですが、現在はコロナで交換学生などの事業はできていません。学生の交換留学、記

念事業でのクラブ交流と大変良い関係が築けておりますので今後も我がクラブの主要な事業のひとつとして継続して頂きたいと思っております。

- ② この年の前年の3月11日には東日本大震災が勃発し、未曾有の災害に見舞われました被災地の皆様の為に周年事業費の大半の200万円を義援金として関市を通じてお届けさせて頂きました。
- ③ ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の協賛として、関市総合体育館の階段にミナモカットパネル、掲示用の横断幕を二枚寄贈させて頂きました。これらの金額は28万円でした。

14. あの時君は・・・PART3

この記念誌には入会年度しか記載されておりませんでしたので、入会年度のみご紹介いたします。

田中静夫さん 2004年入会
藤村伸隆さん 2010年入会
石原妙生さん 2011年入会
川村紳一さん 2007年入会
喜久生明男さん 2000年入会
波多野好文さん 1998年入会

15. 40周年 2017年平成29年2月17日

岐阜グランドホテルにて式典 会員数 29名

40周年記念事業では、川上実行委員長の強いリーダーシップのもと、事業テーマを「森・川・海・絆」と掲げられ、記念事業と記念式典と記念誌発行の3部門に分けて計画され、記念事業と致しましては、地域の長良川を題材にした絵本「森に帰ったクジラ」を関市内の小学児童、及び幼稚園児、保育園児に8000部配布し、将来を担う子供たちに森、川、海の係わりの大切さを認識して頂き、豊かな自然環境を大切に思う気持ちを養って頂く事を学習して頂きました。そしてこの絵本を読んで感じてもらった事についての作文、絵画を募集し、作文507点、絵画830点の合計1337点の、大変多数の応募の中から優秀作品を選考し、関市長をはじめ多数のご来賓にご出席を賜り、優秀作品の発表会、表彰式を2016年10月29日にアピセ関に於いて開催致しました。事業費は200万円でした。

又式典、祝賀会は岐阜グランドホテルに於いて、

多数のご来賓の方々に、ご出席を賜り盛大に執り行われました。

16. 45周年は、先日の5月26日例会場に於いて開催されました。

記念事業と致しましては、先日関商工の武田校長先生がお見えになって卓話を頂戴しましたので、あえて申し上げるまでは無いと思いますが、コロナ禍の中で、関商工インターアクトクラブが台湾景文高校との交換学生の交流が中々できませんので、動画配信機材一式を贈呈させて頂いております。事業費は44万円でした。

17. まとめ

今までの周年記念事業を一覧でご紹介いたしますとこのようになります。このように、今までの関中央ロータリークラブの45年の歴史を顧みますと、社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕に大変貢献している事を勉強させて頂きました。今後の50周年に向けては、次期周年事業提案特別部会というお名前を頂いておりますので、50周年記念事業実行委員会が立ち上がった際には、メンバーと協力致しまして良い意見を提案できたらと思っております。恐らく事業計画は、50周年単年だけでは成し遂げる事が出来ないと思っておりますので、前年、前々年からの計画事業となると思っております。ですので、関中央ロータリークラブ一致団結のもと、地域社会や青少年に対して、素晴らしい、そして魅力のある50周年記念事業が開催できることを祈念致しまして、本日の卓話とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

*出席委員会

会員数30名、本日の出席21名です。

*ニコボックス委員会

- ・会長・副会長、幹事

3名の連名でニコボックスの投函をするのは今日で最後となりました。皆様、1年間本当にありがとうございました。本日の卓話、吉田和也さんよろしく申し上げます。

- ・吉田 和也君

本日は、つたない卓話ですが、よろしく申し上げます。

21名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

- ・不審メール注意喚起のお願い

<次例会の案内>

第2071回 2022年7月14日(木)

C. アssenブリー 新年度活動方針

担 当 会長・幹事